

農林水産統計調査におけるPDCAサイクル点検・評価チェックリスト

政府統計コード	00500228	
基幹・一般の別(選択記入)	一般統計調査	
調査の名称	水産物流通調査（産地水産物用途別出荷量調査）	
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	<input type="checkbox"/>	重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="checkbox"/>	国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="checkbox"/>	月例経済報告に利用
	<input type="checkbox"/>	基幹統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/>	基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/>	その他（漁港施設整備のための流通業や加工業の便益の算定に活用）
特記事項	令和元年調査については水産庁が実査・公表 令和2年調査については水産庁が実査、統計部が公表	

点検・評価項目	点検・評価事項等		調査計画との整合性		不整合が生じている場合の対応状況		
	整合／不整合 (選択記入)	「整合／不整合」欄が「不整合あり」の場合、 その概要等(選択・自由記入)		対応方法 (選択記入)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)	
1 調査の目的	整合	結果の利活用実態 (特記事項)	その他 ()				
2 調査対象の範囲※	整合	調査対象地域 その他 () (特記事項)	調査対象産業				
3 報告を求める個人又は法人 その他の団体(報告者)の数等※	整合	母集団情報 全数層・抽出層の設定 その他 () (特記事項)	抽出方法・抽出基準 対象数の算定				
4 報告を求める事項及びその 基準となる期日又は期間※	整合	調査票 調査期日・期間 (特記事項)	調査事項 その他 ()				
5 報告を求めるために用いる 方法※	整合	調査方法 民間委託の範囲 (特記事項)	調査系統・組織 その他 ()				
6 報告を求める期間※	整合	調査実施期間(始期・終期) 調査の周期 (特記事項)	調査票の提出期限 その他 ()				
7 集計事項※	整合	未集計 復元推計 (特記事項)	未公表 その他 ()				
8 調査結果の公表の方法及び 期日※	不整合あり	<input type="checkbox"/> 公表実施時期 <input type="checkbox"/> e-statの掲載 その他 () (特記事項) 本調査は水産物流通調査業務として水産庁が民間委託（市場化テスト）により実施している。 水産物流通調査業務には一般統計調査の産地水産物用途別出荷量調査及び冷蔵水産物在庫量調査、業務統計の 水揚量・価格情報（日別）、水揚量・価格調査（月別）及び水揚量・価格情報（年別）が含まれる。 冷蔵水産物在庫調査のデータの精査に時間を要したため、産地水産物流通調査（水揚量・価格調査（年 報））の水揚量の数値と用途別出荷量調査の出荷量の数値に齟齬がないか確認及び修正を行う等、データの精査 に着手する時期が遅れ、5月末日の公表予定が遅延し11月5日公表となった。	公表媒体 閲覧表	その他	対応中/対応予 定	調査計画どおり5月末日までに公表するために、民間事 業者の指導、進捗状況の管理を徹底するとともに、審 査・確認等は計画的に行う。	
9 使用する統計基準	整合	独自基準の採用 その他 () (特記事項)	独自基準の説明				
10 調査票情報の保存期間及び 保存責任者	整合	保存期間 保存方法 (特記事項)	保存責任者 その他 ()				
11 立入検査 (基幹統計調査のみ)	非該当	立入検査対象事項 (特記事項)	その他 ()				
12 不整合は生じていないものの、 改善を検討（予定）している事項		検討（予定）している事項の有無 (選択記入) あり	検討（予定）している事項の概要 (自由記入) ・地域毎に取扱い品目に特色があるため、全ての品目につ いて効率的に調査が行えるように抽出方法を変更。 ・調査票回収率を向上させるため、新たな調査方法を追 加。 ・報告者の負担軽減や誤記入防止のため調査票を変更。	対応方法 (選択記入) 調査計画の変 更申請	対応状況 (選択記入) 対応中/対応予 定	左記対応の概要(自由記入) ・市場化テスト（第3期）終了までに抽出方法について 検討を行い、令和5年分調査より変更できるよう、令和 5年に調査計画の変更申請を実施予定。 ・調査方法に調査員調査と電話調査を追加。また、報告 者の負担軽減及び利便性を図るため、調査票情報と同等 の情報を調査票に代えて報告できることを明記。 ・「市場上場水揚量」の内訳について、「重量」又は 「割合」のいずれでも記入できるよう「単位欄」を新 設。また、「市場上場水揚量」の「合計」、「生鮮小 計」及び「冷凍小計」欄を新設。	

(注) 「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施。

Ⅱ 必要 な 精 度 の 確 保 ・ 向 上 の 観 点	1 調査の実施目的を確保するための 精度管理の実施状況	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
		精度管理の目安として いる指標区分 ※該当するものを選択 (複数選択可)	目安としている指標の具体的な設定内容・考 え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている指標の 設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は前々前回調査)
		達成精度(実績精度)	・ 調査品目の水揚量が年間調査の当該品目 のおおむね6割を占める32漁業地区を有意抽 出。 ・ 目標とする回収率は設定していないが実績 は次のとおり。	総務大臣の承認年月 日： 平成22年2月25日	令和元年調査 回収率 100%	平成30年調査 回収率 100%	平成29年調査 回収率 100%
		○ 回収率・回答率					
		回収標本数					
		○ カバレッジ					
		その他					
		設定なし					